

つり環境ビジョンコンセプトに基づく
LOVE BLUE
事業報告書
2021 年度

～全国に広がる感謝の輪～



LOVE
BLUE

地球の未来を

つり環境ビジョン

LOVE BLUE 事務局

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～活動理念～

私たちの考える「LOVE BLUE ～地球の未来を～」とは、持続可能な釣り環境を構築するために、釣りにかかわるすべての人々が、共通の想いをもって発信する未来に向けた理念です。海や川に囲まれ、水に恵まれた国、日本。日本の釣り文化は、世界的に見ても群を抜いて高度であり、とても魅力的です。だからこそ私たちは、「釣りで自然を汚さない」から「釣りが自然を再生させる一助になる」ように環境への意識をさらに高め、世界に誇る「水辺の環境保全」を志向する社会貢献事業の実施を目指してまいります。

「LOVE BLUE ～地球の未来を～」をスローガンに、まずは、「環境保全」と「資源回復」を両軸に、「水辺をキレイに」「サカナを増やそう」「フィールドを広げよう」を3つの優先事項とし活動してまいります。

I



- I 参加企業一覧
- II LOVE BLUE 事業の取り組み
- III LOVE BLUE TOPICS
- IV 水中クリーンアップ活動
- V 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成
- VI 専門機関と連携した放流事業
- VII 水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）
- VIII これまでの国・自治体などからの感謝の声
- IX これまでの水中クリーンアップ活動感謝の声
- X これまでの水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）採択団体

未来へ残した美しい地球の つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業

ア
 ING co.,
 (株)アイビック
 (有)アイビーライン
 アキレス(株)
 (有)アクティブ
 アサヒレジャー(株)
 アチック
 (株)ア・ネットコトブキヤ
 (株)アピア
 (株)アムズデザイン
 (有)アリゲーター技研
 (株)アングラズ
 (有)アングル
 (株)ARTISTIC&CO.BEAUSPORTS
 (株)イシグロ
 (有)イシナダ釣工業
 (株)issei
 INFINITE SEEDS MAKERS(株)
 ヴァンフック(株)
 (株)ウィング
 植田漁具(株)
 (株)ウォーターハウス
 (有)ウォーターランド
 (株)魚矢
 (株)宇崎日新
 ウチダトレーディング・モリックスジャパン
 WooDream
 (株)エイチ・エー・エル
 (株)エイテック
 (株)E S T A T E
 (株)NTマイクロシステムズ
 NPO法人ジャパングームフィッシュ協会
 (株)エバーグリーンインターナショナル
 エフ・ケイ
 (株)M-ONE
 O S G S
 (有)オー・エス・ピー
 オーシャンフリークス(株)
 (株)オーナーぱり
 (株)オーパデザイン
 (株)オオモリ
 (株)OKUMAN
 (有)オジーズ
 (株)小野由

(株)オフィスアクセル
 (有)オフィス・ユーカリ
 (株)オリムピック
 (株)オンスタックル
カ
 (株)鶴祥
 景山産業(株)
 (株)カズマーク
 (株)カツイチ
 (有)加藤精工
 カハラジャパン(株)
 (有)カビィ
 (株)がまかつ
 (有)カラズインターナショナル
 (株)川せみ針
 (有)ガンクラフト
 (有)関門工業
 (株)キサカ
 (株)キザクラ
 (株)K I L L E R H E A T
 金鯰
 (株)キーストン
 クオリティライフ
 (株)クリーブラッツ
 (株)Grayhound
 クレハ合織(株)
 (株)クロノコーポレーション
 グローブライド(株)
 (株)KIOB
 (株)ケイテック
 (株)ゲインコーポレーション
 (株)ケーター関東
 ゲーリーインターナショナル(株)
 ケンインターナショナル(株)
 (株)剛樹
 (株)ゴーセン
 (一社)KONI
 (株)コヒナタ
サ
 (有)財津釣具
 (有)サウスウィンド
 栄通商(株)
 櫻井釣漁具(株)
 (株)ささめ針
 (株)ザップ

(有)サニー商事
 サポートエンジニアリング フラー
 サンヨーナイロン(株)
 (株)サンライン
 (株)3 4
 THE OWL GENE LURE'S
 (株)ジークラック
 (株)シーフロアコントロール
 (株)シマノ
 (株)清水
 (株)下田漁具
 (株)ジャクソン
 (株)ジャッカル
 (株)ジャンプライズ
 (株)上州屋
 skillful
 (株)スズミエンタープライズ
 スタジオディーピーアイ(株)
 スターンキーパー(株)
 スティールハント
 (株)スナガ
 (株)スーパー・ビー
 (株)スポーツライフプラネッツ
 (株)スミス
 征興産業(株)
 (株)清光商店
 (株)ゼニス
 (株)双進
タ
 第一精工(株)
 ダイトウブク(株)
 大同(株)
 大同石油(株)
 太陽産業(株)
 (株)ダイレイ
 タカ産業(株)
 高階救命器具(株)
 (株)タカタ
 (株)タカミヤ
 (株)タックルハウス
 (株)達人
 谷山商事(株)
 (株)タネ・マキ
 (株)ダミキジャパン
 (株)ダン

ために今私たちは行動します

260社・団体参加(2022年3月31日現在 50音順)

痴虫	ピュア・フィッシング・ジャパン(株)	ア
中央漁具(株)	兵庫通商(株)	(株)ヤマイ
(株)津田商会	(有)ヒロカコーポレーション	山田電器工業(株)
(株)ツネミ	フィッシュ・アンド・ハート(株)	山豊テグス(株)
(株)釣研	Fishman(株)アレア	山本光学(株)
つりー(株)	FIELD BACK	(株)ヤマリア
(株)DRT	プエプロ(株)	(株)ヤリエ
(株)ティムコ	(株)フォレスト	ユニチカ(株)
T. H. タックル	FOLLOW	(株)ヨコハマ
D-CLAW	富士工業(株)	(有)よつあみ
(株)DSTYLE	富士灯器(株)	ラ
(株)ディーパス・ファクトリー	(株)フジノライン	(株)ラインシステム
(株)テクノス	(株)フジワラ	(有)ラガチャイナ
(株)デプス	(株)藤原辰次商店	落花生
(株)デュオ	(株)ブリーデン	(株)ラッキークラフト
(株)天龍	フルシロプロダクトデザイン	R a t t y t w i s t e r
(株)トアルソン	ブルーブルー(株)	ラパラ・ジャパン(株)
(株)トゥームストーン	(株)ブレイズアイ	REAL S
東邦産業(株)	プロズワン	(株)リガール
東レ・モノフィラメント(株)	(株)プロックス	(株)リコーサーバンス
(有)トオヤ	ベイトプレス	(株)リチャーズ
(株)土肥富	BeveL	リップラップ
(株)TRYALL	(株)ベルモント	リトルジャック(株)
DRANCKRAZY(株)	(株)北摂マリン	(有)リトルプレゼンツ
DreemUp	Bottomup(株)	(株)リプレイ
ナ	BOREAS	リミット
(株)内外出版社	(株)ボンバダアグア	lure angle HAMA
(株)ナカジマ	マガジン・マガジン	ルアーショップ アンドウ
ニッコー化成(株)	マルキユー(株)	(株)ルミカ
(株)NOIKE	丸米商事(株)	+Rooms'
ハ	(株)マルシン漁具	RAID JAPAN(株)
(株)ハイテックボート	MARUTE	(株)レイン
ハイドアップ(有)	(株)まるふじ	LEGAME(レガーム)
(株)バスディジャパン	mibro	レジットデザイン(株)
バスデイ(株)	(株)ミヤマエ	LESS is MORE
(株)林釣漁具製作所	(株)ムカイフィッシング	(有)ロデオクラフト
(株)ハヤブサ	(株)名光通信社	ワ
はり秀(株)	明邦化学工業(株)	W I L D F I N S
(株)ハリミツ	(有)メガテック	(株)脇漁具製作所
(有)HMKL	メガバス(株)	(株)和田製作所
HAND MADE LURE HIRO	メジャークラフト(株)	(株)ワトスファクトリー
(株)パームス	(株)目探	(株)ワールドスポーツ
(株)バリバス	moriken speed bite	
(株)ビーエムオージャパン	(株)もりげん	
ビジュアルライズイメージ(株)		



2013 年 4 月 事業開始「環境・美化マーク」



2016 年 4 月 千葉県南房総市 石井裕 市長を表敬訪問
 左：石井裕 市長 右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2015 年 4 月 地球環境基金企業協働プロジェクト第 1 号
 水辺の環境保全を担う NPO 等助成開始



2016 年 5 月 G7 伊勢志摩サミットと連携



2015 年 6 月 エコライフ・フェア 2015 望月義夫 環境大臣 プース来訪
 中央：望月義夫 環境大臣左：当工業会 大村一仁 副会長 右：当工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2016 年 5 月
 三重県鳥羽市
 木田久主一 市長を表敬訪問

左：三重県鳥羽市
 木田久主一 市長
 右：当工業会 島野容三 会長



2015 年 6 月
 環境大臣より感謝状を頂く
 右：環境省 小林正明 事務次官
 左：小島忠雄
 LOVE BLUE 委員長



2016 年 6 月 エコライフ・フェア 2016 丸川珠代 環境大臣 プース来訪
 中央：丸川珠代 環境大臣 左：大村一仁 副会長 右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2015 年 7 月 茨城県酒沼のラムサール条約登録に貢献



2016 年 7 月 第 36 回全国豊かな海づくり大会～やまがた～と連携



2015 年 9 月 徳島県の小学校で環境教育授業を実施



2017 年 1 月 環境省 小林正明 事務次官を表敬訪問
 中央：小林正明 事務次官 左から松下和夫 京都大学名誉教授、大村一仁 副会長、島野容三 会長、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2017年6月
エコライフ・フェア 2017
関芳弘 環境大臣
ブース来訪

左：関芳弘
環境副大臣
右：小島忠雄
LOVE BLUE 委員長



2019年6月 原田義昭 環境大臣を表敬訪問
左から：大村一仁 副会長、松下和夫 理事、原田義昭 環境大臣、島野容三 会長、小島忠雄 顧問、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事



2017年9月 第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～と連携



2021年3月 鹿児島県 塩田康一 知事を表敬訪問
中央：塩田康一 鹿児島県知事
中央右：前田かおる (公財) かがしま豊かな海づくり協会 事務局長
中央左：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長
最右：小松智昭 専務理事 最左：柿沼清英 理事



2017年9月 徳島県の小学校で環境教育授業を実施



2021年3月 (公財) かがしま豊かな海づくり協会理事会
右から：(公財) かがしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長、
鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長、
小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、柿沼清英 理事



2018年9月 茨城県 大井川和彦 知事を表敬訪問
右から：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、大村一仁 副会長、
大井川和彦 茨城県知事、島野容三 会長、加藤誠司 副会長、
柿沼清英 理事



2021年3月 鹿児島県 中村かおり 副知事へ表敬訪問
中央左：中村かおり 鹿児島県副知事
最左：前田かおる (公財) かがしま豊かな海づくり協会 事務局長
中央右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長
最右：柿沼清英 理事



2018年10月「第17回世界湖沼会議いばらき霞ヶ浦2018」にて、
小島忠雄 LOVE BLUE 委員長が講演。



2018年12月 山形県鶴岡市・三瀬保育園にて、クロダイ放流体験を通じた劇「LOVE BLUE～クロダイのこども達の冒険」を実施。



2021年12月 広尾町 村瀬優 町長へ表敬訪問
左から：村瀬優 広尾町町長、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長

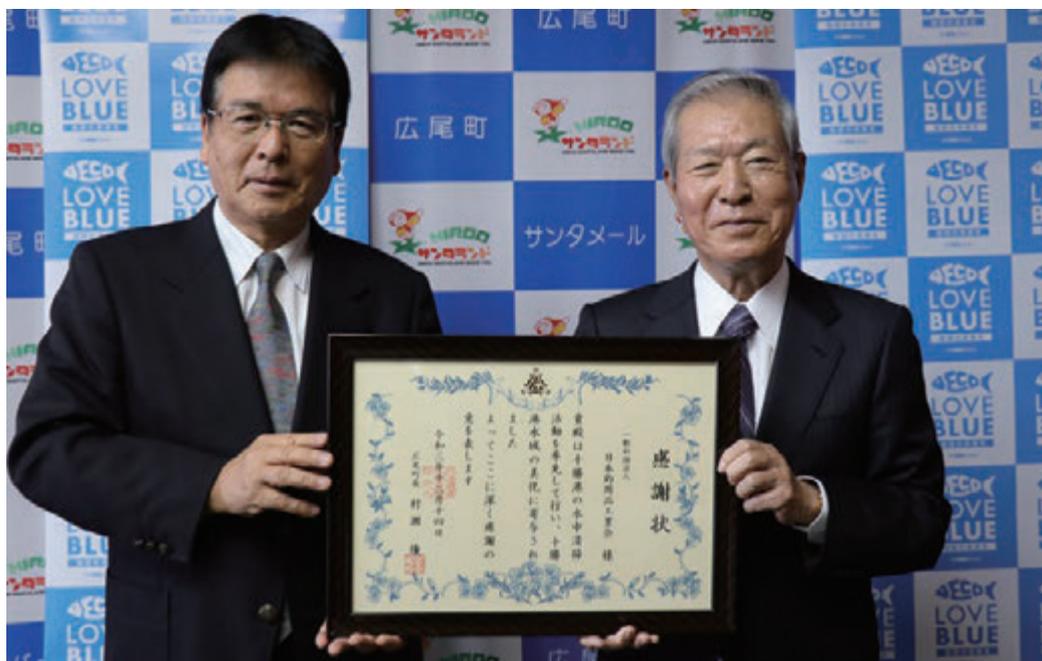
LOVE BLUE TOPICS

※役職は当時のものです。

LOVE BLUE 北海道 広尾町 村瀬 優 町長から感謝状 ～重要港湾十勝港の水中クリーンアップ活動へ～

2021年12月14日 広尾町応接室

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業として、北海道では初となる感謝状が、広尾町 村瀬 優 町長から (一社) 日本釣用品工業会へ授与された。この日、同会 LOVE BLUE 委員会 小島忠雄 委員長が村瀬優町長へ表敬訪問を行い、同町が管理する重要港湾十勝港での水中クリーンアップ活動実施へ要望を頂いたことや感謝状授与へ御礼を行った。(2014 年から 2020 年まで 7 年間累計 33 日実施)



(左から: 村瀬優 広尾町長、(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長)

十勝晴れとなったこの日、広尾町本庁舎では広尾町港湾課をはじめとした関係者が、小島忠雄委員長らの到着を歓迎した。村瀬町長はまず、「わざわざ小島顧問にお運びいただきましてありがとうございます。」と御礼の言葉があり、町長応接室で感謝状授与式が執り行われた。「感謝状：一般社団法人日本釣用品工業会様 貴殿は十勝港の水中清掃活動を率先して行い、十勝港水域の美化に寄与されました。よってここに深く感謝の意を表します。令和三年十二月十四日 広尾町町長 村瀬優」と町長より読み上げられ、メディア各社の写真撮影の後、冒頭、記者会見となった。

まず、記者からの質問は小島忠雄委員長に向けられた。以下、記者会見内容。

「小島委員長から LOVE BLUE 事業に対する思いを聞かせてください。」との質問に、小島委員長は「今、時代の大きな潮流は社会貢献となっている。釣り業界は大きなことはできない



(一社) 日本釣用品工業会
小島忠雄 LOVE BLUE 委員長

が、地道に自分たちが恩恵に預かる自然環境へ恩返しをしたい。そして将来へ豊かな自然環境を繋げて行きたい。それが LOVE BLUE 事業の発端です。願わくは時代の先端となるべく社会貢献を行いたいというのが趣旨です。」と答えた。

続いて「LOVE BLUE 水中クリーンアップ活動は全国で行われていますが、北海道十勝港で実施した理由と、実施場所は、釣り人が多い場所という点で決めたのか、釣りとは離れてきれいにするということなのか。」との質問には、「まず、LOVE BLUE 事業の財源は全国の釣り人並びにメーカー等の企業からお預かりしている浄財ですから、事業

実施についても全国平等に進めて参りたいというのが LOVE BLUE 事業の考え方です。そのため全国を7ブロックに分けてマーケットバランスなど一定の基準を基に予算配分を行い実施している。そして、もうひとつ大切なのは、LOVE BLUE 事業は何の見返りもいただかない事業ということです。ですのでむしろ胡散臭がられる。自ら費用を負担してまで取り組む社会貢献事業ということが稀有だとよく言われます。また LOVE BLUE 事業は、水中クリーンアップ活動など、私たちの思いだけではできません。こちらの十勝港のように、ご要望、チャンスをいただいて初めて社会貢献活動をすることができるのです。ご要望をいただけるかが大切なのです。ご要望を基に全ての場所は決まっています。そこを突破口にして、皆様に喜んで頂くために、もっともっと全国公平に広げて行きたいというのが絶対に譲れない考え方です。その意味でも村瀬町長から十勝港でのご要望いただき心から感謝しております。

記者会見の最後に、小島委員長は「北海道で LOVE BLUE 事業として自治体、公職者の方から感謝状をいただくのは初めてです。非常に大きな節目を迎えることができましたこと御礼申し上げます。」と挨拶した。

この後、村瀬町長から御礼が次の通りあった。「(一社) 日本釣用品工業会 顧問 LOVE BLUE 委員長の小島さんから理念をお聞きして、崇高な理念だと。やはり海で生きている、海に関連して生きている方々が、社会に還元するということが、本当に素晴らしい理念だと思います。そして、ここ十勝港で活動していただいたことに心から感謝申し上げます。特に水中クリーンアップですから、ゴミ拾いは日常色々な方々がされますが、水中で清掃頂くのは初めてで、多分色んなものがでたのではと思っております、本当に心から



村瀬優 広尾町長

感謝申し上げます。』

これを受け、小島委員長からは「こちらこそありがとうございます。いま町長からありました通り、清掃したごみの内容は一切公表しないというのが考え方です。」と話すと、町長は、「その町のマナーが問われますからね」との話があった。

また、村瀬町長から「釣りをする方々は純粹にルールを守ってちゃんとされている方が沢山いらっしゃる。中にはひとりふたりマナーの悪い人がいる。それが独り歩きするんですよ。釣り人は悪いという風に。でも釣りをする人たちが清掃する方々もいる。貴会のように全国的に活動されているところもある。このような活動が釣りをしている人たちなどへもっと知ってもらえれば、ゴミも散らかさなくなると思います。みんなの港で、みんなの海ですから。みんなに使ってもらって喜んでもらうというところですよ。」との話があり、さらに「こういう活動が色々な業界に広がっていくと良いですよ。例えば、洞爺湖で季節になると毎日花火を上げるんですが、財源は宿泊した方の宿泊料から出ている。宿泊者に感謝しつつ頂いたお金を財源として還元しているということもあります。LOVE BLUE 事業は業界の想いがまとまって、260 社の参加企業があるということが素晴らしいですよ。」と LOVE BLUE 事業がもたらす社会的な広がりへ期待を寄せる言葉もあった。

村瀬町長からは、最後に、「海を持つ我々の生活の糧というのは、その海が財産ですから、海で食べていく人たちは海を大事にしますので、この取り組みは素晴らしい取り組みとしますし、ありがたいと思っています。海があるから、釣り人がいるから、業界が成り立って社会貢献するって素晴らしいですよ。釣りの業界へのイメージが変わりました。」との言葉があった。

これを受け、小島委員長からは「ありがとうございます。ひとつひとつ積み重ねて参ります。私たちは、やらせていただくところがないとできない取り組みですので、功を焦らずに、業界を挙げての取り組みなので、間違いの無いように、地道に取り組んで参ります。」と話すと、



と、村瀬町長から「その『やらせていただく』というのが本当に凄いなと思います。漁師の意識も変わってくるのではと思います。本日は本当にありがとうございました。」と締め括った。

(右から：村瀬優 広尾町長、
(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長)

LOVE BLUE TOPICS

LOVE BLUE マナー広報

これから釣りを始めようとしている人や釣りを始めたばかりの人(エントリー層)へ。そして、波及的に釣り人の皆さんへも伝わるように取り組んで参ります。ハフポスト日本版と BuzzFeed Japan で記事等が掲載されますので、是非ご確認ください。



「BuzzFeed Japan【激ムズ】釣りに好きにしかわからない用語クイズ」の記事



「ハフポスト日本版 コロナ禍で「釣りブーム」到来。その裏で「ある問題」が起きていた」の記事

LOVE BLUE 事業周知広報

2021 年度も YouTube CM はじめ、朝日新聞・読売新聞の全国版一般紙の朝刊に小型広告を環境の日・海の日・釣りフェスティバル 2022 初日・世界水の日 の 4 回掲載致しました。来年度も多くの方にご理解いただけるよう、YouTube CM と朝日新聞・読売新聞などで周知広報を実施して参ります。



釣りに一般社会向け Ver.



釣りに人向け Ver.



一般社会向け Ver.

全国に広がる感謝の輪

～水中クリーンアップ活動編～

私たち釣り人は世界中の水辺から恩恵を授かっている社会の一員です。その豊かな水辺を守る活動の柱としての取組が、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動です。

LOVE BLUE では全国を7ブロックに分け、公平性や透明性等を踏まえ、都道府県や市町村、港湾管理者、漁業者等の皆様からご要望を頂きながら実施しています。

効率の良い作業や安全性の為、プロダイバーが実施する水中クリーンアップ活動では、陸上スタッフとダイバーは常時無線交信設備を装備し、万全の安全管理を徹底しながら作業をしています。また、必要に応じて、法令に基づいた許可申請も行い、地域のご関係先への周知等丁寧に連携しながら実施し、回収したゴミは産業廃棄物として適切に処分しています。

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は 2013 年度の事業開始より 2021 年度に至るまで、9 年間累計 35 道府県 290 箇所 1178 日実施しています。

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	
<中部・北陸地方：20日>			1	3	5	22	6	20	5	17	5	22	4	18	4	17	4	19	4	16	
中部・北陸	愛知県	三河湖	1	3																	
		入鹿池			1	5	1	5	1	5	1	3									
	富山県	六波寺海岸			1	4	1	3	1	3											
		黒部漁港									1	5	1	5	1	4	1	5	1	4	
		名舟漁港			1	3	5	1	3	3											
		富栄漁港			1	5	1	3	1	3											
		安宅漁港			1	5	1	3	1	3			1	5	1	5					
	石川県	前波漁港															1	3			
		金沢港																			
		金沢港金石地区船溜															1	5	1	3	
福井県	東尋坊・崎漁港											1	5	1	5	1	5	1	5		
岐阜県	稲漁港																	1	4		
	長良川											1	4								
	東大江川													1	3	1	5	1	5	1	4

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<中国・四国地方：15日>			0	0	5	23	5	15	5	17	5	14	4	14	4	15	4	17	4	16
中国・四国	香川県	松山漁港			1	5														
		土庄港					1	3												
		那佐港			1	3														
	徳島県	由岐漁港					1	3	1	3										
		日和佐港									1	3								
		檜臼漁港											1	4						
		亀浦漁港(八木の鼻地区)													1	4				
		亀浦漁港															1	5	1	5
		佐田岬漁港			1	5	1	3	1	3										
		三机港			1	5	1	3	1	3			1	3						
愛媛県	松山港(高浜地区)			1	5	1	3	1	3			1	2							
	九丁漁港													1	4	1	4			
	田之浦漁港															1	3	1	3	
鳥取県	境港							1	5											
高知県	宇佐漁港									1	3	1	3	1	4	1	4	1	4	
岡山県	牛窓港									1	3	1	3	1	3	1	5	1	4	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<九州・沖縄地方：15日>			0	0	5	25	5	16	5	21	5	15	4	14	4	14	1	3	5	32
九州・沖縄	佐賀県	唐津港			1	5	1	3												
		伊万里港			1	5	1	3	1	3	1	3								
		館浦漁港			1	5	1	3												
	長崎県	薄香湾漁港					1	2												
		生月漁港							1	3	1	3								
		長崎港											1	4	1	4				
	熊本県	八代港			1	5	1	3												
	沖縄県	名護漁港			1	5	1	5	1	5	1	3	1	3	1	3			1	3
		都屋漁港																		
	大分県	別府港							1	5										
		吹浦漁港									1	3	1	3	1	3				
		山川漁港							1	5										
	鹿児島県	枕崎漁港									1	3	1	4	1	4				
		野間池漁港																		
	宮崎県	外浦港																		

- 滋賀県
 - ・北山田漁港 (2月21日～25日)
 - ・赤野井港湾 (2月28日～3月4日)
 - ・南浜漁港 (3月7日～9日)
 - ・八木浜舟溜 (3月15日～17日)
 - ・早崎漁港 (3月11日～13日)
 - ・大溝漁港 (3月19日～22日)
- 和歌山県
 - ・戸坂漁港 (3月9日～12日)
- 奈良県
 - ・津風呂湖 (2月15日～18日)

- 岡山県
 - ・牛窓港 (12月22日～25日)

- 高知県
 - ・宇佐漁港 (12月15日～18日)

- 愛媛県
 - ・田ノ浦漁港 (12月10日～12日)

- 徳島県
 - ・亀浦漁港 (12月21日～25日)

- 長崎県
 - ・長崎港 (1月7日～13日)

- 大分県
 - ・吹浦漁港 (2月4日～7日・2月9日～12日)

- 鹿児島県
 - ・野間池漁港 (1月17日～24日)

- 宮崎県
 - ・外浦港 (1月27日～2月1日)

- 沖縄県
 - ・都屋漁港 (12月12日～14日)

Voice 水中クリーンアップ活動

～水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～



山形県漁業協同組合 専務理事 西村盛さん

私は、漁師の倅に生まれてきて港も使っていますし、釣りもしています。釣り人がいるっていうのは、賑わっていて良いですよ。ただ、それは、釣り人と漁師が共生できていて初めてそういえることなのだと思います。山形県では、鶴岡市などでは、歴史的に酒井の殿様がクロダイ釣りを奨励した、釣りの文化がありますので、漁業者と釣り人がそんなに違う空気で動いていないという面もあります。漁港に来たら釣り人がいて、クロダイを釣っているというのがいわば日常の感覚ということもあると思います。

一方、サビキの針などが係船ロープに引っかかって、それで漁業者がケガをすることもあります。最近ではコロナ禍の中、港内で釣りをされる方が多いですよ。具体的なトラブルでは、漁港内の漁業者の駐車スペースに遊漁者の車が停まっていたり、漁業者が軽トラックを停めることが出来なくて、出漁できなかったということがありましたね。その時は、県の港湾事務所に話して、“ここは漁港施設で漁業者の皆さんの駐車スペースです”というような看板を立てて頂いたということがここ一年くらいでありました。

その意味では、やはりマナーですよ。ゴミを片付けていただくというのはマナーとして当然のことだと思いますし、最近漁業者が気にしていることは、二馬力の船外機を付けたボートですね。ひとつは漁港から船を下ろして出発し、車を止めっぱなしにして誰もひと気がなければ、それが県外ナンバーの車だったりするとなお更、何かあったのかと心配して漁業者は対応するわけです。そこに竿をもって釣りしている人がいれば、県外から来て釣りしていると分かるの





ですが。

もうひとつは、エンジン故障や流されて帰れなくなったりする。救助依頼が海上保安部に入りますが、大きな艦船で小さなボートに寄せられませんか、海上保安部

から、漁港の水難救済会（漁業者による互助団体）に連絡が入り、結局、私たち漁業者が漁船で救助することになります。その場合、漁業者は何十人も操業を全部止めて対応することになります。もちろん操業できなかった補償もないわけです。それで、救助しても「私は漁船に助けてくれと頼んでいない」と言われたこともありました。

漁港の地面は、駐車場ではなく「干場（かんば）」というのですが、海藻を干したり、漁具を広げて網を洗ったりする作業に使うのですが、そこが、一日中とか半日とか、遊漁者の車で占領されてしまうと、その作業ができなくなってしまいます。魚をいっぱい釣って捨てられるのも困りますね。漁業者が捨てたのかと警察から問合せが来たりもします。

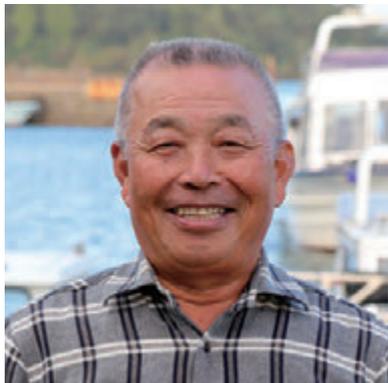
ただただ港の中で遊ぶだけではなく、釣り具がロストしたものが水中でどうなるか、その先を考えて欲しいなと思います。針ひとつあれば、そこにゴミなどが絡まったり、それが団子になるのはそう時間がかからない。漁船がプロペラに巻き込んでしまうと最悪エンジンまで壊れてしまうことも。大きくなると、幽霊操業（そこに魚が掛かってしまう）になってしまうこともあります。

その意味で、LOVE BLUE 事業で水中清掃をやって頂いていること、こういう業界団体という大きいところが、小さい港も気にして清掃していただいているということがとても助かります。そしてこういう事業を行ってもらっているということを漁業者に紹介することで意識も確実に変わってくると思います。

私たちも日頃から清掃活動が大事だと思って続けているので、今後も是非、水中清掃を続けて行ってもらいたいと思っています。ありがとうございます。

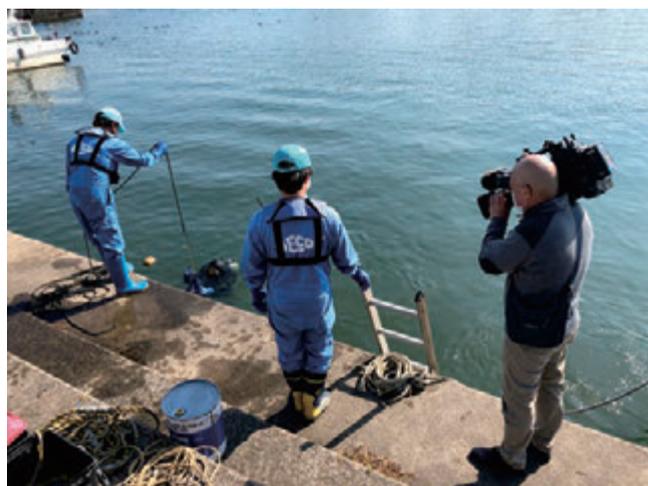
Voice 水中クリーンアップ活動

～水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～



滋賀県 沖島漁業協同組合 代表理事組合長 奥村繁さん

私が組合長になってから、実施要望の手を挙げているのですが、最初は手を挙げておきながら、疑問がありました。完全無償で水中の清掃をやっていただけるなんて、本当にあるのかなと。潜って作業してくれる業者はあまりなくて、無理をしてでもしてもらおうとすると、どうしてもお金がかかってしまうので、本当に完全無償でやってくれるのかなと、打合せまで不安でした。ただ、打合せの時にね、しっかりと丁寧に説明してくれたり、質問をしっかりと聞いてくれて、尚且つ、場所についてもこちらの要望を聞いてやってもらえるとあって頂いて、だんだんと信用出来るようになってきました。そして、信用出来るなと思った一番の決め手は、わざわざ遠くから説明に来ていただいてね、完全無償でやってくれると説明を聞いたから、せめて、気持ちだけでも、喉を潤して頂きたいと思って、お茶をどうぞと渡したら、お気持ちだけ頂きます。ありがとうございます。とお断りをされたんですよ。この時代に現実的にこういうのがあるのだと感動してしまって、そこから信用して大丈夫だと思いましたね。実際に水中の清掃をやってもらった時はほんとに、感謝感激でした。私は、出来ることなら毎年やってもらいたいと思っていますし、組合のみんなも感謝しております。



地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成

～全国に広がる感謝の輪～

地球環境基金企業協働プロジェクト・LOVE BLUE 助成とは

地球環境基金が行う支援活動の中で、特定の活動に対して支援したい寄付者の「想い」を反映させたプログラムです。LOVE BLUE 助成は、(一社)日本釣用品工業会よりLOVE BLUE 事業の一環として、寄付した資金を基に、清掃活動など、水辺の環境を構築するための助成金となっております。

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金とは環境庁(現・環境省)が中心となっており、民間団体(NGO・NPO)による環境保全活動への資金の助成その他の支援を行うため、1993年5月に創設されました。

LOVE BLUE助成団体

2021年度

東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
兵庫県	アイサーチ・ジャパン
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
石川県	NPO能登半島おらっちゃんの里山里海
東京都	DEXTE-K
神奈川県	(一社)スピリット・オブ・セイラーズ
大阪府	大阪海さくら
大阪府	大阪自然環境協会
高知県	夢創房室戸迎鯨の杜

2015年度

香川県	NPOアーキペラゴ
群馬県	NPO浅間・吾妻エコツーリズム協会
東京都	NPO荒川クリーンエイド・フォーラム
岐阜県	NPOいびがわミズみずエコステーション
香川県	海守さめき会
東京都	(一社)JEAN
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPOワールドオーシャンズデイ

2016年度

島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
広島県	NPO 自然環境ネットワークSAREN
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2017年度

島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やっтарろうde高島

2018年度

沖縄県	美ら海振興会
島根県	NPO アンダンテ21
鹿児島県	くすの木自然館
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
兵庫県	神戸海さくら
熊本県	次世代のためにがんばる会
東京都	全国川ごみネットワーク
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やっтарろうde高島

2019年度

東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO未来の荒川をつくる会
熊本県	次世代のためにがんばる会
鹿児島県	NPOくすの木自然館
長崎県	やっтарろうde高島
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
山形県	NPOパートナーシップオフィス
宮城県	(公財) みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
石川県	NPO能登半島おらっちゃんの里山里海

2020年度

東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
鹿児島県	NPOくすの木自然館
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
山形県	NPOパートナーシップオフィス
宮城県	(公財) みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
石川県	NPO能登半島おらっちゃんの里山里海
東京都	DEXTE-K
香川県	NPOアーキペラゴ
神奈川県	一般社団法人スピリット・オブ・セイラーズ

Voice 地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成

~ LOVE BLUE 助成 2021 年度採択団体 日々の活動 ~

東京都

全国川ごみネットワーク

プラスチックごみ削減普及啓発プロジェクト

6小学校において、川や海ごみ削減の出前授業を実施し、児童が各自の生活と海ごみの関連を知り、ごみ削減の行動変容を促しました。地域の活動リーダーと一緒にサポートして、地域で広がるように考えました。啓発ツール検討会を開催し、地域での広がりに関与するツール等の検討や改善などを行いました。



LOVE BLUE 助成を受けたことにより、小学校での出前授業を複数校で実現できました。助成金事業ということで小学校からの信頼も高まったことと思います。また子どもたちが学び考える機会ができたことに加え、私ども組織の啓発スキルの向上、地域での川学習の広がりも図れたことが成果となりました。

出前授業の実施を継続し地域活動リーダーの活躍を推進します。さらに地域活動リーダーが川や海ごみ削減のリーダーとなるのに役立つようなポイントブックを本助成金事業3年間の集大成として作成し、各地で川ごみ削減の啓発が進むことを目指します。



代表理事 金子 博さん

兵庫県

NPO 神戸海さくら

須磨の自然と歴史を学び海洋環境を守り育てる活動

毎月1回のビーチクリーン17回と、海水浴場開催期間に該当する16回を合わせて、計33回のビーチクリーンを行い、延べ2058人が参加しました。また、専門家による環境セミナーを3回開催しました。神戸市内の公立中学校二校と兵庫県「トライやる・アクション」の一環として協働で須磨海岸清掃を実施しました。



神戸市環境局主催の海洋プラスチックごみを使用した啓発展示に協力団体として参画し、海洋プラスチックごみの回収に協力しました。須磨海岸で拾い集めたプラスチックごみを使用し、水族館をイメージして制作したエコアート『プラごみ水族館』を展示しました。なお今年度は、新聞2回、テレビ放送1回、ラジオ放送1回のメディアに取り上げられました。

海洋プラスチック問題が今、世界的な注目を浴びています。ひとたび海に流れたゴミは回収することが非常に困難となることから、水際でゴミの海への流入を防ぐ私たちの活動は、益々重要になってくると思います。大都市における海洋環境保全のロールモデルになればと思います。



理事長 森口 智聡さん

兵庫県

アイサーチ・ジャパン

西日本におけるイルカ・クジラに関する教育・啓発活動の充実と普及

海やイルカ・クジラを想いながら親子で楽しく海岸のごみ拾いを行うイベントや、ホエールウォッチングガイドや調査員による講演会の実施を行いました。また、イルカ・クジラを通して自然環境を考える子ども向けワークショップの実施と環境に優しい生活の提案を地域に密着したイベントにて行いました。



LOVE BLUE 助成を受けたことにより、関西圏での活動回数が大幅に増えました。団体の認知が高まり、会員やボランティアスタッフの西日本在住の方による新規参加が増えました。また、企業や他団体からの活動実施やコラボレーションのお問合せも多数いただきました。

活動する中で、大阪・兵庫は海と密接に関わる地域であること同時に、その身近な海にイルカ・クジラが暮らしていることはあまり知られていないと改めて実感しました。西日本での活動はまだ始まったばかりです。地域と連携した活動を実施し、より活動の幅を広げていきたいと考えています。



事務局長 石塚 誉子さん

福岡県

宗像フェス CSR 推進実行委員会

日韓海洋プラスチックリサイクル環境学習

日韓の学生で日本海を挟んだ、釜山、福岡の双方の海岸を同時清掃し、ネット中継で日韓の学生でマイクロプラスチックが環境に与える影響などの講義を受けた後に環境ディスカッションをしました。双方で回収した海洋プラスチックを合わせて日本でリサイクルを行います。



LOVE BLUE の助成を受けたことにより、活動出来た事で、企業理念の実現に向けて、積極的に CSR 活動に取り組んでいる企業から、一緒に海岸清掃をしたいと言う申し入れがあり、今夏に実行することとなりました。

基盤が出来たこの体制を基に、更に学生主導の団体を組織して自主的に環境問題を考え取り組んでいく運営スタイルを宗像フェス CSR 推進実行委員会は学校、企業、行政と連携しながら運営サポートを行って参ります。



実行委員長 湊田 修一さん

Voice

埼玉県

NPO ジョイライフさやま

環境保全の大切さを伝える自然体験・地域交流の創出

今年度、唯一参加者との交流が出来たのは田植えの事業のみと成りましたが、子供のはしゃぐ笑顔と生き生きとした姿を今まで見たことがないとお話を伺い、活動出来て良かったと思う瞬間でした。



水辺周辺の自然体験環境学習が出来ませんでしたが、周辺の除草、剪定、ごみ集積活動においてはしっかりと活動を生み、第41回緑の都市賞を受賞の際に佳子内親王からお言葉を頂けたり、県知事による彩の国環境大賞を受賞出来、テレビ埼玉の取材を受け放映されました。

住み慣れた自然の環境は樹林や、河川だけでは無く、生き物にとって、人間にとって、大切な要素を含み身近なところに多様な生き物と自然環境が広がる様子を学べ、自然を通してこれからも体験学習の活動が出来ると感じています。



理事 高杉 克江さん

大阪府

大阪海さくら

大阪湾でアマモを育て海の生き物を知ろう、淀川ゴミ拾い『大阪海さくら』

大阪湾河口の淀川で毎月1回楽しくごみ拾いをする。江井ヶ島で地曳網と生物観察会。アマモの種採取から養生、種まき育苗して苗を岸和田沖『ちきりアイランド』へ移植。初夏は此花区マリナで、海と陸のごみ拾い・マリンスポーツの体験会の開催。秋は堺市のライブハウスで音楽と『ちりもんカード作り』を企画。海ごみの話をする。



活動の起爆剤が入ったように堂々と行動を起し目標を人々にPRすることができた。年間を通した多くのイベントをスタッフと共に働けた。大阪市には浜がないので、大阪湾の端を廻りながら海のイベントをしているが、やっと地元此花区役所と繋がりができた。朝日放送もSDG'sの関係で2日間の取材をしてくれた。大阪の高校が1年間コラボ。専門学校生が告知デザインを担当し作品制作をした。

大阪湾の各地を活発に訪ね、地元の人たちとコラボする。地元此花区で開催の2025大阪万博にも、他企業や団体とパートナーシップをとり“ひとりひとりの小さな力でも自然や海を守ってゆける”ことを広めたい。



代表 那須 睦美さん

大阪府

大阪自然環境保全協会

遠征観察会やごみ拾いの実施による『海洋プラスチックごみをなくす社会を目指した意識改革』活動

豊かな自然環境が残る半面、大阪湾のゴミが集まる無人島への日帰りバスツアー「成ヶ島ツアー」を2回、外国からの漂着ゴミが大量に漂着する若狭湾の砂浜でヤシの実や貝殻などを拾うビーチコーミングを楽しむ「若狭湾ツアー」を1回、計3回のエコツアーを実施しました。



海洋プラスチックごみ問題といってもなかなか実感がわかないものですが、実際に漂着する現場へ行き、現地で取り組む人の話を聞くこと、また同時に存在する豊かな自然を楽しむことで、自分自身に関わる問題としてプラスチックごみを発生させないようにするにはどうすればいいのか考えるきっかけとなりました。

昨年はコロナのためバスツアーや室内プログラムが思うようにできませんでしたが、今年はバスツアーの定員も元に戻し、一人でも多くの人にツアーや講演会に参加していただけるようにしたいです。また昨年初開催の「若狭湾ツアー」のプログラムをさらにブラッシュアップしたいです。



代表・監事 田中 広樹さん

石川県

NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海

能登の里海環境・文化の持続可能性構築

釣り大会やクリーンビーチは、小・中学校を巻き込み定着してきました。ミニ地引網による里海調査や保全林散策などのふるさとの海や山を知る活動、アサギマダラや砂ガニの調査なども継続しました。2回目となった「里海ウォーキング」は、今後の魅力的なプログラムとしての手ごたえを感じています。



楽しむ活動としての釣り大会は、コロナ感染リスクも低いことから参加者も増加傾向で、海水浴シーズン前に実施するクリーンビーチとともに地元小学生に定着しつつあります。ミニ地引網による里海調査や、冬の海の魅力発見につなげようとして実施した「里海ウォーキング」は、観光資源として交流人口の増加にも期待できます。

当法人がこれまで蓄積してきた作業や体験プログラムをマニュアル化し、映像での記録化を進めることで、環境学習素材の整備のほか、体験プログラムのガイド役の人材育成に生かしたいと考えています。この魅力ある活動をアピールし、若手会員の増強にもつなげていきます。



理事長 多田 進郎さん

Voice

東京都

DEXTE-K

西なぎさ発:東京里海エイド(ラムサール条約に登録された葛西干潟における漂着ごみ収集を中心とした保全活動)

- 参加者総数：216名（大人：168名、子ども：48名）
- 漂着ごみ：450ゴミ袋×152袋
- 粗大ごみ：67個（バイク部品、工事標識、プラかご、冷蔵庫蓋等）
- 危険ごみ：75個（注射器、使い捨てライター、ボンベ類等）



- 「西なぎさ発：東京里海エイド」が評価され、東京2020大会聖火ランナーとして選抜され、トーチリレーに参加。
- マイクロプラスチックに関する出前授業を、3件実施。
- 読売新聞&江戸川テレビにて活動&代表が紹介された。

引き続き、他のNPO団体と連携し、臨時のフィールド活動やマイクロプラスチックの実態についての出前授業を実施していく。またリピート参加者を増やすべく「里海パスポート」を導入し、ファンやステークホルダーを増やしていく。



DEXTE-K 橋爪 慶介さん

高知県

夢創房室戸迎鯨の杜

海辺の環境保全と海洋文化の伝承プロジェクト

生活様式等の変化等による海洋環境の保全や地域の海洋文化を継承していくために、今年度①海洋生物観察会②海岸の清掃活動③漁村体験（魚釣りなど）などを実施した。さらに、ワークショップを行い持続可能な活動内容の充実を図った。



環境学習を通じて生物多様性と自然環境の重要性について、参加者の意識を高めることができた。また、体験活動を通じて地域の海洋文化にふれることができ関心度を高められた。今回の活動を通じて、行政や関係団体との連携もでき活動の理解や協力が得られことは大きく継続的な活動の礎となった。

今年度の活動をベースに、自然観察活動や保全活動の持続化を促進し、フロントリーダーとしての役割を担っていければと思っている。また、そのため推進体制のネットワーク化を図ると共にリーダーなど人材育成にも努めていきたい。



理事長 横山 昌三さん

神奈川県 (一社)スピリット・オブ・セイラーズ

Ocean College ~海を学び、地球を感じる体験~

海上の漂流ゴミを減らすため、参加者の方と船での海上ゴミ清掃を通して環境保全について考えることで自発的な行動に繋げるプロジェクトを行なっています。また清掃活動をオンラインで毎月実施し、参加者が各地域の清掃活動の様子や感想、拾ったゴミの量をSNSにアップして全国でゴミ拾いの輪を広げていきました。



LOVE BLUE 助成を受けたことにより活動の継続性が生まれ、参加者が増加するとともに協力団体が日本全国に14団体増えました。また、環境保全に関して発信をしている複数のサイトにもご紹介いただく機会が増えました。(持続可能な海を共創するダイビングと海の総合サイト【オーシャナ】、一般財団法人公園財団等)

この活動は継続することで認知される機会が広がり参加者や協力者の増加に繋がっています。海洋問題を身近な事として考え、生活の中や普段の活動の中で続けられる形になることで持続性が生まれるので、船でのゴミ拾いを通して新たな地域や団体との協力を広げていきたいと考えてます。



代表理事 山本 海さん

専門機関と連携した放流事業

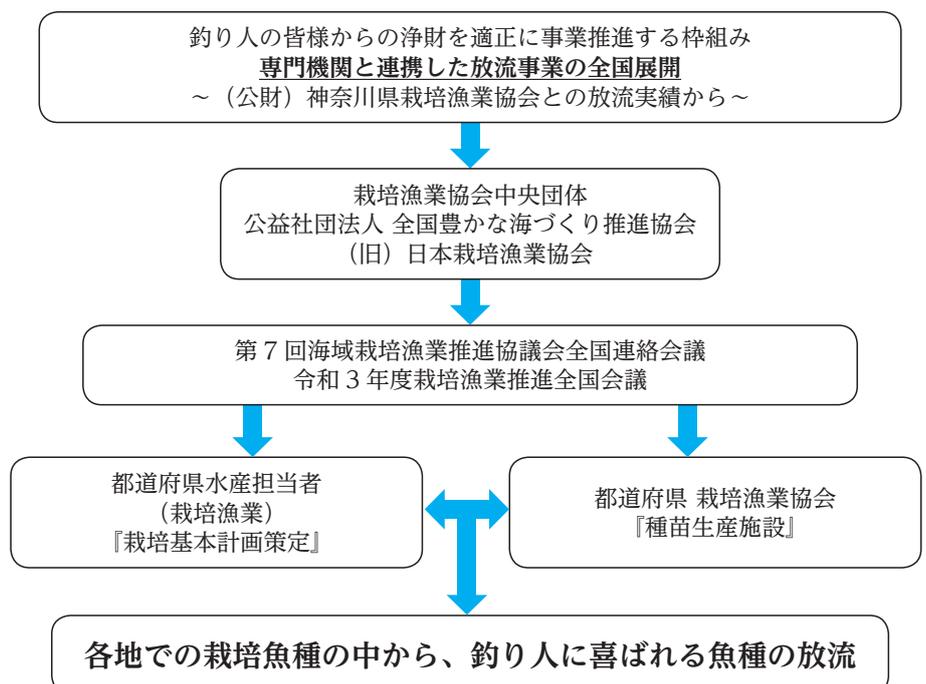
～放流事業の全国展開（4年度目）～

2013年4月の事業開始より2017年度まで、専門機関と連携した放流事業として、公益財団法人神奈川県栽培漁業協会へ事業委託し、釣り人の皆様に喜んで頂けるよう、毎年マダイ稚魚を神奈川県側の東京湾へ20万尾（5年間累計100万尾）放流すると共に、漁獲・釣獲の面から放流効果調査も進めて参りました。

この公的栽培機関と連携した5年間の放流事業の実績から「一定の海域・資源量を基礎にした放流量の指針」を得るとともに、栽培養殖に係る公共機関との信頼関係を醸成することが出来ました。このような背景を基礎に2018年度から、全国各地の公的栽培機関と連携・協力体制を構築しながら、一定の海域・資源等も踏まえた『釣り人の皆様に喜んで頂ける、釣りに利活用出来る魚種』の放流を各地で進めて参りたいと考えました。

そのため、まずはこれまでの実績と信頼関係を基に、2017年度内に栽培事業に関する中央団体である「公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会」へLOVE BLUE事業へのご協力を依頼させて頂き、そして2018年1月30日に開催された、第3回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議・平成29年度栽培漁業推進全国会議以降、毎年度会議の席でご説明の機会を頂き、2021年度も2022年1月26日に、各都道府県の水産担当者や栽培機関の方々へ、LOVE BLUE放流事業へのご協力のお願いをさせて頂いています。

第7回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議 LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業へご協力を依頼



専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、2021 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

秋田県

(マダイ2万220尾・クロソイ2万尾・ヒラメ3万2105尾)

(公財) 秋田県栽培漁業協会



神奈川県

(マダイ9万8000尾・カサゴ5000尾)

(公財) 神奈川県栽培漁業協会



専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、2021 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

新潟県 (ヒラメ8万尾)

(公社) 新潟県水産振興協会



静岡県 (マダイ3万尾・ヒラメ3万尾)

(公財) 静岡県漁業振興基金



専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

2021年度 1府10県9魚種 710万2558尾

累計 9 年間 **1645万6713** 尾

滋賀県

(ホンモロコ400万尾・ゲンゴロウブナ250万尾)

(公財) 滋賀県水産振興協会



大阪府

(キジハタ1万尾)

(公財) 大阪府漁業振興基金



専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、2021 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

山口県 (マダイ6万8000尾)

(公社) 山口県栽培漁業協会



熊本県 (カサゴ7万6800尾)

(公財) くまもと里海づくり協会



専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

2021年度 1府10県9魚種 710万2558尾

累計 9年間 1645万6713尾

大分県

(ヒラメ4万4200尾・イサキ5万6200尾)

(公社) 大分県漁業公社



宮崎県

(カサゴ8万3333尾)

(一社) 宮崎県水産振興協会



専門機関と連携した放流事業

～ 2021 年度全国各地の放流実績～

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、2021 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

長崎県
(カサゴ1万7500尾・クエ8000尾)

(株) 長崎県漁業公社



2021年度 1府10県9魚種 710万2558尾

累計 9年間 **1645万6713**尾



専門機関と連携した放流事業

～放流事業にご協力頂いた皆様からの感謝の声～

大分県国東市立
安岐小学校

校長 山田弘司(当時) さん



今回の LOVE BLUE 専門機関と連携した放流事業 7 月 1 日大分県漁業協同組合安岐支店地先での、ヒラメ 3,000 尾の放流について、安岐小学校の子どもたちにこういった経験が全く無いので、とてもいい経験になったと思います。

今日は 2 年生、3 年生だったんですけども、小さい子の方が反応がいいので、たぶん子供たちの印象に残っていると思います。とても喜んでいてと思います。私は以前の勤務場所が海が近かったので釣りをしていたのですが、こっちに来てからは中々行けていなのですが、自分で釣って、捌いて食べるっていうのは、自分自身いい経験になっています。なので、今回子どもたちにこういった経験をさせてあげることが出来て、大変感謝しております。本当にありがとうございます。

大分県漁業協同組合
安岐地区

漁業運営委員長 齋藤信二 さん



今回御世話になった放流のヒラメ 4 万 4,200 尾はとても役に立っています。ヒラメは稚魚が大きいから、育ちがいい。他の魚と比べてヒラメは 1 年で成長が早いからいいですね。放流の魚が多ければ多い方がいいよね。全部が全部育つわけではないからさ。放流しても他の魚に食べられたり、カレイなんかは食べられるのが多いけど、ヒラメは口が大きいから、他の魚を食べたりして成長が早いもんな。カレイは値段が高いけど、育ちが悪いから、ヒラメは育ちがいいから助かっていますよ。この放流事業は大変ありがたいですよ。とても助かっています。

水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）は、2021年度は3団体を採択～

水産庁ご後援の下、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門 沿岸生態システム部 内水面グループや、全国内水面漁業協同組合連合会から、LOVE BLUE 事業へご理解とご協力を頂き、2017年度より事業開始致しました。5年度目の2021年度からは全国21団体へと展開致しました。

この事業は、ワカサギ卵供給にかかる初期設備（ふ化施設等）一式の物納支援という形で、各都道府県の水産試験場等の研究機関等と連携しながら推進していきます。

2022年2月14日（月） 第25回ワカサギに学ぶ会 ZOOM 開催



「第25回ワカサギに学ぶ会」へ参加し、本事業をご説明する機会をいただきました。（参加4年度目）

5年間累計 21 団体

2021 年度
019：奈良県 津風呂湖
020：大分県 大山ダム
021：北海道 濤沸湖

2017 年度
001：群馬県 鳴沢湖
002：長野県 美鈴湖 / 小花見池

2018 年度
003：埼玉県 名栗湖
004：千葉県 高滝湖
005：兵庫県 音水湖
006：茨城県 霞ヶ浦
007：群馬県 梅田湖
008：島根県 尾原ダム湖
009：山梨県 河口湖

2019 年度
010：佐賀県 北山湖
011：山形県 横川ダム
012：山梨県 山中湖
013：北海道 しのつ湖

2020 年度
014：兵庫県 東条湖
015：北海道 網走湖
016：栃木県 川俣湖
017：新潟県 奥只見湖
018：宮城県 花山ダム

水産庁後援名義使用許諾 文書



水産庁後援内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業
～内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)は2021年度3団体を採択～

2021年度採択団体(3団体)

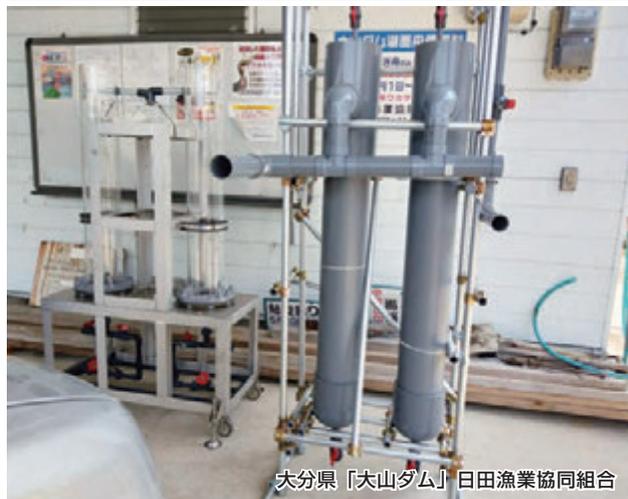
- 奈良県「津風呂湖」津風呂湖漁業協同組合 自然産卵水槽2基/親魚捕獲用定置網3張
- 大分県「大山ダム」日田漁業協同組合 2連式孵化器1基/2連式可搬型孵化器1基/自然産卵用水槽2基/親魚捕獲用定置網1張
- 北海道「瀧沸湖」網走漁業協同組合 取水ポンプ1台/汚泥ポンプ1台/親魚捕獲用漁網1張



奈良県「津風呂湖」津風呂湖漁業協同組合



奈良県「津風呂湖」津風呂湖漁業協同組合



大分県「大山ダム」日田漁業協同組合



大分県「大山ダム」日田漁業協同組合



北海道「瀧沸湖」網走漁業協同組合



北海道「瀧沸湖」網走漁業協同組合

Voice 水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

～ワカサギ事業感謝の声～

山梨県 山中湖漁業協同組合 副組合長 長田一久さん

水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）で漁網と水槽を支援していただいて、大変感謝しています。私どもにとってはワカサギは大事な資源でありますから、そのワカサギをどのように増やすのか、減らさないのかという事を毎日考えています。また、山中湖はワカサギ釣りのお客さんも多く来てくれるので、その人たちに釣ってもらうためにワカサギを増やしていけないといけないと思っています。ワカサギが増えれば、釣りのお客さんももっと多く来ていただけるようになって、地域の活性化にも繋がればと思っています。今回、水槽と漁網を支援していただいたことで、水槽は1台は持っていたのですが、もう1台いただいたことで、持ち運んで使う事が出来るようになりました。また、親魚を捕獲する漁網も活用していて、とても役に立っています。支援いただいたからには頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。とても助かっています。



これまでの国・自治体等からの感謝の声

※役職は当時のものです。

原田義昭 環境大臣へ表敬訪問

2019年6月20日 環境省環境大臣室

原田 環境大臣からは、2013 年度から 7 年目となる、全国各地の水辺の環境保全に取り組む当事業の実績に対して「国内全体へ、細やかに取り組まれている、素晴らしい事業ですね」と評価いただきました。

また、当事業と環境省の関係では、(独法) 環境再生保全機構・地球環境基金 企業協働プロジェクト第一号として創設され、2015 年に望月義夫環境大臣からも感謝状をいただいた「LOVE BLUE 助成」が、全国各地で水辺の地球環境保全に取り組む NGO・NPO などを支援していることについて、改めて感謝の言葉をいただきました。



左から：大村一仁 副会長、松下和夫 理事、原田義昭 環境大臣、島野容三 会長、小島忠雄 顧問、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事

環境省表敬訪問

2017年1月20日 環境省事務次官室

LOVE BLUE 事業が取り組む社会貢献事業について、これまで積み重ねてきた実績等をご説明するため、2017 年 1 月 20 日金曜日、環境省へ表敬訪問を行いました。

島野会長より、「当初は釣り場の清掃から始めた事業ですが、今では LOVE BLUE 事業として、例えば全国の各自治体を通じて、各地の皆様からプロダイバーによる水中クリーンアップへのご要望をお寄せ 頂けるようになるなど、多くの皆様に喜んで頂ける社会貢献事業となって参りました。昨年 (2016 年) の G7 伊勢志摩サミットでもプロダイバーによる水中クリーンアップ活動をお役立て頂くなど、様々なご要望にお応えしております。LOVE BLUE 事業は、参加企業が全ての釣用品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部を自主財源として取り組んでいるものです。これからも御省と連携しながら地球環境のためにより一層努めて参りたいと思います。」と当事業について説明を行いました。



中央：小林正明 環境事務次官、左から、松下和夫 京都大学名誉教授、大村一仁 副会長、島野容三 会長、小島忠雄 顧問

環境保全活動に大きく貢献 環境大臣から感謝状

2015年6月10日 環境省総合政策局長室

参加企業の皆様のご理解とご協力、そして釣り人の皆様一人一人の力を合わせて展開する LOVE BLUE 事業は、2015 年度、新たに本事業の一環として、独立行政法人環境再生保全機構と連携し、同機構による「地球環境基金 企業協働プロジェクト」の第 1 号「つり環境ビジョン助成」をスタートさせました。この事業は、日本国内で水辺の環境保全活動等を行う NPO・NGO 等の団体に対し、その活動を支援する為の助成で、2015 年度は、全国 8 団体を支援しました。上記の事業を踏まえた、つり環境ビジョン助成の環境保全活動に対し、「環境の日」である 6 月 5 日付にて、環境大臣より感謝状をだされ、そして 6 月 10 日 (水)、LOVE BLUE 委員会小島忠雄委員長が代表して、環境省を訪問し環境省総合環境政策局 小林正明 局長より授与されました。



右から、環境省総合環境政策局 小林正明 局長、小島忠雄 顧問

これまでの国・自治体等からの感謝の声

※役職は当時のものです。

塩田康一 鹿児島県知事 表敬訪問

2021年3月24日 鹿児島県知事室

鹿児島県庁知事室にて、塩田康一知事へ、(一社)日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長と同会 小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事が表敬訪問を行いました。

冒頭、小島委員長は「本日は大変お忙しい中、このような機会を賜り誠にありがとうございます。私どもが社会貢献事業として取り組む LOVE BLUE 事業を鹿児島県内ではプロダイバーによる水中クリーンアップ活動と共に、錦江湾内へのマダイ放流をご活用頂き心より感謝致しております。」と話し、併せて、釣り人の皆様が釣り用品を購入いただいた売り上げの一部を財源として、釣り界を挙げての取り組みであることや、これまでの鹿児島県内での放流実績などの報告を行いました。

塩田知事からは、鹿児島県内での LOVE BLUE 事業実施への御礼とともに、2020年度の放流現地に訪れたこと、自主財源での実施や漁港や港湾等での清掃活動へも関心が示され、釣りについても「今年も行ったんですが釣果が振るわず、漁師にはなれませぬね(笑)」など、終始和やかな懇談となりました。



中央 塩田康一 鹿児島県知事、中央右 前田かおる(公財)かごしま豊かな海づくり協会 事務局長、中央左 (一社)日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、最右 同会 専務理事 小松智昭、最左 同会 理事 柿沼清英

大井川一彦 茨城県知事 表敬訪問

2018年9月28日 茨城県知事室

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018:10/15~10/19)の開催を前に、釣り界が取り組む、LOVE BLUE 事業へのご理解とご協力の御礼と、世界湖沼会議での LOVE BLUE 事業の活動報告の機会を頂いたこと、並びに今後一層、茨城県内での LOVE BLUE 事業の推進をお伝えするため、(一社)日本釣用品工業会の代表が、大井川和彦 茨城県知事へ表敬訪問致しました。

大井川和彦 知事からは、「社会貢献事業として取り組まれている、LOVE BLUE 事業、水中クリーンアップ活動、本当にありがとうございます。素晴らしい事業です!引き続き宜しくお願いします。」との御礼のお言葉をいただきました。さらに、霞ヶ浦の水質浄化や地域経済の発展など様々な話題で、終始和やかな懇談の場となりました。



左から、柿沼清英 理事、加藤誠司 副会長、島野容三 会長、大井川和彦 茨城県知事、大村一仁 副会長、小島忠雄 顧問

中村かおり 鹿児島県副知事表敬訪問

2021年3月24日 鹿児島県副知事室

中村かおり副知事との懇談の機会があり、中村副知事からは「本日のようにご来訪頂くことで、県としても県内からの視点ではなく、外から見た鹿児島の価値を再認識する機会となります。その意味でもご来訪頂き心から御礼申し上げます。是非ともまた鹿児島県を宜しくお願い致します。」との感謝のお言葉をいただきました。



中央左 中村かおり 鹿児島県副知事、最左 前田かおる(公財)かごしま豊かな海づくり協会 事務局長、中央右 (一社)日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、最右 同会 柿沼清英 理事

これまでの国・自治体等からの感謝の声

※役職は当時のものです。

木田久主一 鳥羽市長表敬訪問

2016年5月19日(木) 三重県鳥羽市役所市長室

2016年5月19日、G7伊勢志摩サミットまであと7日となった、三重県鳥羽市・鳥羽市役所本庁舎内、鳥羽市長室へ、島野容三会長が表敬訪問しました。

G7伊勢志摩サミットへ連なる LOVE BLUE 事業の「格」

島野会長：サミット前の大変お忙しい時期にお時間を頂きありがとうございます。あらためまして、市長直々のお声かけで、鳥羽港の清掃の機会を頂戴し、さらには、G7伊勢志摩サミットへのおもてなし大作戦に加えて頂くことができました、我々としたしましては、これまで LOVE BLUE 事業として取り組んで参りました社会貢献活動に、ひとつの大きな「格」をつけて頂くことになりました。これまでのご配慮に心から御礼を申し上げます。

釣りに対するイメージが大きく変わる

木田市長：こちらから御礼のごあいさつに伺うべきところ、鳥羽市へお運び頂き、ありがとうございます。鳥羽は海女と真珠のふるさとです。私たちが大切にしている海をきれいにしていることに心から感謝申し上げます。市長：多くの企業が志を同じくして参加されていることが本当に素晴らしい。釣りに対するイメージが大きく変わってくると思います。



左から、鳥羽市 木田久主一 市長、島野容三 会長

石井裕 南房総市長 表敬訪問

2016年4月18日(月)南房総市役所市長室

LOVE BLUE 事業を評価 委員長：水中クリーンアップ活動の他にも、昨年度から「つり環境ビジョン助成」という活動を始めています。これは独立行政法人環境再生保全機構における地球環境基金企業協働プロジェクト第1号として始まったもので、水辺の環境保全を考えるNPOなど諸団体を全国規模で支援するものです。昨年度は、8団体を助成いたしました。その活動を評価頂き、環境大臣から感謝状を授与されました。

市長：それはすごいですね。さまざまな活動をされている中で、私たちの南房総市を水中クリーンアップ活動の場として選んで頂いてうれしく思っています。水の中は自分たちでは、なかなか清掃できないので、プロのダイバーの方々に水中を清掃頂けるのは、とてもありがたいです。

市長：南房総市は三方を海に囲まれているので、多くの釣り人が訪れます。南房総市の観光シーズンは冬なのですが、釣り人の皆さんには年間を通して、楽しんで頂いているようです。



左から、南房総市 石井裕 市長、小島忠雄 顧問

これまでの国・自治体等からの感謝の声

※役職は当時のものです。

富岡賢治 高崎市長 表敬訪問

2018年3月28日(水) 高崎市役所市長室

LOVE BLUE 事業は、社会貢献事業として実施する水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）について、2018年3月28日、群馬県高崎市 富岡賢治 市長へ、同市鳴沢湖公営釣り場にワカサギ卵孵化施設一式設置のご報告及び御礼のご挨拶に、当工業会 大村一仁 副会長、小島忠雄委員長、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事らが表敬訪問を行い、富岡賢治 市長より、「ワカサギ釣りは地元高崎氏にとっても大きな収入源の一つとなっております。地域経済の発展なども含めて、本当にありがとうございます。」と感謝のお言葉をいただきました。



左から、富岡賢治 市長、大村一仁 副会長、小島忠雄 委員長

(公財) かごしま豊かな海づくり協会 訪問

2021年3月24日 鹿児島県水産会館

(公財) かごしま豊かな海づくり協会は鹿児島県水産会館にて理事会を開催され、その席上、小島委員長から「LOVE BLUE 事業の目的は、自然環境の保全・持続が根底にあり、水中清掃活動から歩みを始め、放流事業にも取り組ませて頂いております。魚族資源は化石燃料とは異なり海洋環境保全や資源増殖などの努力を重ねることで豊かな恵みとしての持続につながります。その一助として、鹿児島県で LOVE BLUE 事業をご活用いただいたことへ心より御礼申し上げます。」と挨拶がありました。

鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長からは、「豊かな海が大事です。長く漁師をやっているので資源が少ない実感があり、鹿児島でのマダイ放流は本当にありがたい。心から感謝しています。」との御礼があり、(公財) かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長からも「鹿児島ではマダイは豊かな海の象徴です。また機会がありましたら、是非、鹿児島県でのマダイ放流を LOVE BLUE 事業で支援して頂きたい。」とのご要望がありました。



右から、(公財) かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長、鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長、(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、同会 理事 柿沼清英

～環境系トッパーリーダーとの鼎談～

2019年12月12日 (株)シマノ本社

2019年12月12日(木)、水辺の環境保全活動を社会貢献事業として釣り界を挙げて取り組む、つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の周知広報の一環として、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 小辻智之 理事長と京都大学 松下和夫 名誉教授と一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長による「LOVE BLUE 世界に誇れる水辺環境の保全」とのテーマでの鼎談(三者対談)が行われました。



左から、独立行政法人環境再生保全機構 小辻智之 理事長、一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長、京都大学 松下和夫 名誉教授

Voice 水中クリーンアップ活動

※役職は当時のものです。

～これまでの水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～

クリーンアップひぬまネットワーク 谷萩八重子さん

2019年7月13日 瀬沼水中清掃実施

2015年に、貴重な湿地や固有種等が生息する場所として「ラムサール条約登録湿地」となった茨城県瀬沼。例年、海の日前後に、流域市町が連携して実施している陸上清掃イベント「ひぬま流域クリーン作戦」では、クリーンアップひぬまネットワーク事務局よりご要望頂き、LOVE BLUE 事業の水中クリーンアップ活動も連携して実施しています。

同ネットワーク・谷萩八重子会長からは「私たちでは出来なかった水中の清掃を LOVE BLUE 事業が取り組んでいただけたおかげで、瀬沼はラムサール登録湿地となれました。本当に感謝しております。ありがとうございます！」とのお言葉をいただきました。



霞ヶ浦問題協議会 会長 中川清さん

2018年3月4日～8日 額賀船溜水中清掃実施

国内第2位の面積を持つ湖・霞ヶ浦。その流域 24 自治体が連携して取り組む陸上清掃イベント「第91回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」と連携し、水中クリーンアップ活動を実施致しました。主催者である「霞ヶ浦問題協議会」会長でもある中川清土浦市長からは「いつも霞ヶ浦の水をキレイにする為に、水中クリーンアップ活動を実施していただき、ありがとうございます！」とお喜びの声をいただきました。



熊野漁業協同組合 理事 山下真次さん

2016年5月10日～14日 二木島港水中清掃実施

「二木島港は湾の奥やから、流されてきたゴミが溜まりやすいんでね。僕らも岸壁の上は掃除するけど、海の中は専門の技術や装備がいるし、お金もかかるし、自分らではできないでしょう。だから、みんな『ありがたい』と言っているよ。水中クリーンアップ活動が始まって一番びっくりしたのは、作業員さんたちがみんな礼儀正しいこと。誰かが通るたびに丁寧に挨拶してくれるから、ここの若い子らもみんな関心とったよ。」



水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

～これまでの採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2017年採択団体（2団体）

- 群馬県「鳴沢湖」群馬県水産試験場 自然産卵水槽
- 長野県「美鈴湖」小花見池 長野県水産試験場 ソーラー式可搬型孵化器



群馬県 / 群馬県水産試験場



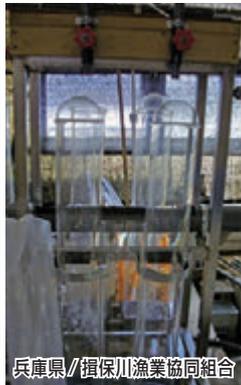
長野県 / 長野県水産試験場

2018年採択団体（7団体）

- 埼玉県「名栗湖」入間川漁業協同組合 4連孵化装置
- 兵庫県「音水湖」揖保川漁業協同組合 4連孵化装置
- 群馬県「梅田湖」両毛漁業協同組合 ソーラー式可搬型孵化器／自然産卵水槽
- 千葉県「高滝湖」養老川漁業協同組合 親魚捕獲用定置網
- 島根県「さくらおろち湖」さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会 4連孵化装置
- 茨城県「霞ヶ浦」霞ヶ浦漁業協同組合 自然産卵水槽
- 山梨県「河口湖」河口湖漁業協同組合「親魚捕獲用定置網



埼玉県 / 入間川漁業協同組合



兵庫県 / 揖保川漁業協同組合



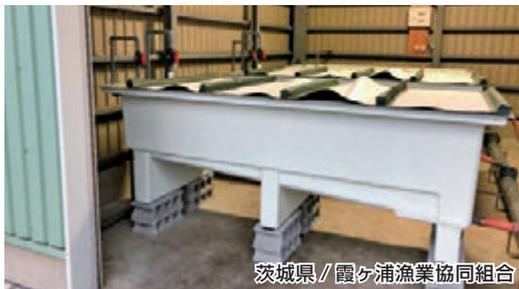
群馬県 / 両毛漁業協同組合



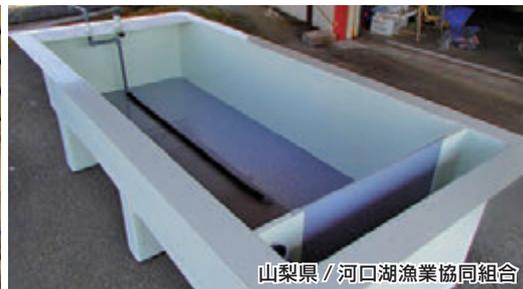
千葉県 / 養老川漁業協同組合



島根県 / さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会



茨城県 / 霞ヶ浦漁業協同組合



山梨県 / 河口湖漁業協同組合

水産庁後援内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

～これまでの採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2019年度採択団体(4団体)

- 佐賀県「北山湖」北山湖環境保全及び安全対策会 2連孵化装置/自然産卵水槽
- 山形県「横川ダム」小国町漁業協同組合 サランロック/ゴムボート
- 山梨県「山中湖」山中湖漁業協同組合 親魚捕獲用定置網/自然産卵水槽
- 北海道「しのつ湖」新篠津村 2連孵化装置/自然産卵水槽



水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

～これまでの採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2020年度（5団体）

- 兵庫県「東条湖」加古川漁業協同組合 4連孵化器1基/自然産卵水槽1基
- 北海道「網走湖」西網走漁業協同組合 自然産卵水槽6基
- 栃木県「川俣湖」川俣湖漁業協同組合 2連孵化器2基/自然産卵水槽1基/親魚捕獲用定置網
- 新潟県「奥只見湖」魚沼漁業協同組合 4連可搬型孵化器2基/孵化装置設置用浮棧橋
- 宮城県「花山ダム」花山漁業協同組合 4連可搬型孵化器1基/自然採卵水槽2基/親魚捕獲用定置網2張/孵化装置設置用棧橋



兵庫県 / 加古川漁業協同組合



栃木県 / 川俣湖漁業協同組合



新潟県 / 魚沼漁業協同組合



北海道 / 西網走漁業協同組合



宮城県 / 花山漁業協同組合

アマゾン川でのピラニア釣りから LOVE BLUE 事業を考える

今から20年以上前、アマゾン川でピラニア釣りをする機会がありました。アマゾンの熱帯林の視察と調査に行った時のことです。当時からアマゾンの熱帯林保全是世界的課題となっていたのです。一口にアマゾンの熱帯林といってもヨーロッパのほとんどの国がすっぽりと入ってしまう広さがあります。

ピラニア釣りは当時からアマゾン観光の一環になっていたようです。一方で釣りは人が環境に直接接触して、環境や命の大切さを知ることができる貴重な機会でもあります。釣り界全体が取り組む LOVE BLUE 事業は、釣りを通じて、海や川などの豊かな自然環境から恩恵を受ける中で、釣りに関わる人々とともに、水辺の環境保全活動などを社会貢献事業として取り組むものです。アマゾン川での釣りは、広大な熱帯林とその保全の意義を考える良い機会にもなりました。

熱帯雨林の保全活動などを調査した翌日、私たちはアマゾン川にボートで出かけ、森林を川から観察しました。アマゾン川は川というよりは海のように、川の水はやや茶色で透明度はほぼゼロです。ここでは船やボートが主な交通手段で、川の中にガソリンスタンドが浮かんでいます。アマゾンの森林で特徴的なのは、雨季に水位が上がった時に一定期間浸水する森林があることです。これを浸水林と呼びます。

浸水林の中を小さなボートでゆったりと航行している途中、ガイド役の現地の人が、ボートの中でまな板を取り出し、牛肉の塊を短冊状に細かく切り始めました。お昼前だったので、昼食は牛肉かな、と思ったところ、そうではなくピラニア釣りが始まったのです。シンプルな棒のような竿が私たちに配られ、それに小さなさいころ型の牛肉をつけて、川の中に入れます。

川は茶色に濁りほとんど水の中が見えません。ガイドの指示に従って竿で水面をパチャパチャとたたきます。そうすると魚が寄ってくるのです。どう猛な肉食魚が相手でやや緊張しましたが、15cmから30cm位のものが何匹か連れしました。

昼食は自分たちで釣ったピラニアを水上レストランに持ち込み、刺身とから揚げにして試食しました。ピラニアは太い骨と鋭い歯を持ち怖い顔をしていましたが、肉はやや赤みを帯びた白身で、鯛かイサキに似た淡白な味でした。

アマゾンの大自然の中では、その環境を生かした釣りが行われています。釣りを通じて自然の素晴らしさを満喫し、ひいてはそれが地域の発展と熱帯林の保全につながることも望めます。今後 LOVE BLUE 事業が目指す環境と共生した社会の理念が世界に広がることを期待したいものです。



京都大学名誉教授
松下和夫

公式FACEBOOK・公式ホームページのご案内

公式FACEBOOKでは最新の情報(水中クリーンアップ活動等)を配信しています。

公式ホームページでは自治体や地元からの生の声や、詳細な活動報告を掲載しています。

ぜひご覧ください。



FACEBOOK LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE
FACEBOOK



LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE HP
<http://www.loveblue.jp/>

